

# 「あったかい風をみんなで吹かそう」

「いじめ問題」や「仲間づくり」についての思いをデザインした「あったかい風をみんなで吹かそう」缶バッジデザインコンクールに1,794点の応募がありました。ありがとうございます。入賞作品を紹介します。



問合せ先 県教育委員会 いじめ・不登校総合対策センター  
電話 0857(28)2362  
FAX 0857(31)3958

<p>最優秀賞</p> <p>林有紗香さん 米子市立河崎小学校 1年</p> <p>ひとのかおをはりえにしました。このようにみんなのえがおでいっぱいになったらいなとおもいます。</p>	<p>吉田光来さん 鳥取市立湖南学園 1年</p> <p>(伝えたいことは)みんながなががいぼうが心があったかいこと。(工夫したことは)見上げたかんじにしたこと。</p>	<p>大口華さん 米子市立河崎小学校 6年</p> <p>私が伝えたいことは、いま戦争などが起きているけど、世界中のみんなが笑顔でつながり、平和で、仲良くらせるようにということを伝えたいです。工夫したことは、色をカラフルにしてぬったことです。</p>	<p>八峠基哉さん 県立鳥取湖陵高等学校 3年</p> <p>いつも、心に愛を持って、他人を敬うように接して欲しいという気持ち。また、色とりどりの「心」は、たくさんの人を繋いでおり、たくさんの人を愛して欲しい、という気持ちを込めました。濃い色を使わないよう工夫しました。</p>
<p>優秀賞</p> <p>岸祐生さん 日南町立日南小学校 1年</p> <p>たけやすはると武安桜さん 鳥取市立立倉小学校 5年</p>	<p>吉田金之助さん 鳥取市立湖南学園 1年</p> <p>南部町立西白小学校 5年</p>	<p>木原和香さん 鳥取市立浜城小学校 2年</p> <p>鳥取大学附属小学校 3年</p> <p>米子市立明道小学校 4年</p>	<p>河崎優良さん 鳥取市立立倉小学校 4年</p> <p>鳥取市立湖陵高等学校 3年</p>

# 読書を楽しもう 読書で楽しもう

## 本でつなぐわたしたちの未来プロジェクト2018 中学生ポップコンテスト

中学生の皆さんから、本の魅力を伝える「ポップ」作品を募集しました。優秀賞受賞作品をご紹介します！  
【募集期間】平成30年8月1日～9月28日 【応募作品数】870点

自由図書枠 優秀賞(10作品) ※( )内は、図書名です。	
にしおさやか 西尾爽花さん 鳥取市立東中学校3年 (僕は上手にしゃべれない)	くしだあやか 榎田彩花さん 鳥取市立北中学校2年 (かがみの孤城)
たかた 高田ひかるさん 鳥取市立北中学校2年 (植物園鑑)	みやけはるの 三宅遥乃さん 鳥取市立北中学校2年 (クラスメイツ)
かじいのぞみ 梶井希望さん 倉吉市立東中学校3年 (コーヒーが冷めないうちに)	かみゆき 神谷歩美さん 湯梨浜町立北濱中学校2年 (ミッキーマウスの憂鬱)
たけもとゆうき 竹本有希さん 米子市立福生中学校2年 (あしながおじさん)	えんどうなほみと 遠藤直仁さん 米子市立福生中学校1年 (最新!平成ことば事情)
いだまゆみ 井田真由美さん 米子市立美保中学校3年 (ぼくらの七日間戦争)	くろみゆうだい 黒見勇大さん 大山町立中山中学校1年 (キャプテン)

推薦図書枠 優秀賞(10作品) ※( )内は、図書名です。	
くみだしほこ 黒田志保子さん (児童文学作家)	「水底の棺(中川なをみ 著)」「風にのってきたメアリー-ポピンズ(P.L.トラヴァース 著)」
こたにしんのぞの 小谷真之介さん (グラフィックデザイナー)	「自分の仕事をつくる(西村佳哲 著)」「アミ 小さな宇宙人(エンリケ・パリオス 著)」

推薦図書枠の優秀賞受賞者が本の推薦者の黒田さん、小谷さんと面談して、本を読むことの大切さや、夢をかなえるために必要なことなどについてインタビューを行いました！(インタビューの様子はホームページに掲載しています) <https://www.pref.tottori.lg.jp/pop/>



## ビブリオバトルで本のおもしろさを伝え合おう

ビブリオバトルとは、BIBLIO(本)のBATTLE(戦い)を表し、知的書評合戦とも呼ばれています。発表者は、自分が読んでおもしろいと思った本を持って集まり、順番に1人5分間で本を紹介し、全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準として投票をし、最多票を集めたものを「チャンプ本」とします。ご家庭でも親子でおすすめる本を紹介しあうのも楽しいですね。



県教育委員会では「ビブリオバトル支援事業」として、大学生等を学校に派遣してビブリオバトルの実演を行うことで、県内での普及を目指しています。また、高校生の表現力・コミュニケーション能力の養成と、高校生同士が読書への関心を高め合う場を提供することを目的として、「全国高等学校ビブリオバトル鳥取県大会」を開催しています。今年度は、2018年12月9日(日)に開催し、県内10校より計16名の高校生バトラーが参加し、熱戦を繰り広げました。

問合せ先 県教育委員会社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175

## 境高等学校 語学力向上プロジェクト 「英語多読と国際交流」

本校が位置する境港市は国際的に開かれた重要な港湾・空港を有しており、北東アジアの玄関口として経済的にも文化的にも発展しています。

本校では、地域の特性を活かし、「グローバル」な人材育成を目標に掲げています。このため語学教育の充実を図り、英語多読・多聴(自分の英語力にあったやさしい本から読み進め、楽しみながらたくさんの本を読むうちに英語力がついていくことをねらいとした取組)をはじめとする英語力向上の取組と学校設定科目「中国語」・「ハングル」を設置し日常会話の習得を目指した取組を進め、成果を上げているところです。国際交流活動が活発になり、韓国大田女子高校や香港順徳高校を訪問したり、韓国やモンゴル等から留学生を受け入れたりして、生徒間交流の機会を増やしています。



問合せ先 鳥取県立境高等学校 電話 0859(44)0441 FAX 0859(44)0443

## 鳥取県のエキスパート教員

日野町立黒坂小学校 森川 寿子教諭

### 意欲をもって確かな言葉の力を

子どもたちに確かな言葉の力を付けるために、アウトプット型の単元学習(学習活動のまとまり)の充実に取り組んでいます。

学年や学習のねらいによって必要とされる言葉の力は様々ですが、学習を通して子どもたちに身に付けてほしい言葉の力と、子どもたちが自分の表現に必要なから身に付けたいと思う力が一致する学習の流れを組み立てるよう心がけています。

#### 〈みんなで計画を立てる〉

単元のはじめに先輩たちや教員が作ったパンフレットやプレゼンテーションなどを見せ、自分もやってみようという意欲を喚起します。子どもたちは、学習した結果を伝えたい相手や伝える目的・方法を話し合って単元全体の学習計画を立てます。

#### 〈読みの工夫〉

教科書の教材等から自分たちが表現する時に必要な言葉や事柄、構成の工夫などを読み取っていきます。その際、子どもたちの中から気付きが生まれるよう、教材文を書いた人がどのような工夫をして書いたのか話し合ったり、複数の文章を比べて読

んだり、観点に沿って分析しながら読んだりするなどの効果的な読み方を模索しながら学習を進めていきます。また、必要に応じて図書館を利用して並行読書(関連した本を読むこと)も行います。

#### 〈アウトプットの場の設定〉

学習計画に従って学習の成果を発表したり、作品の形にまとめたりします。小規模であることや、地域とのつながりが深いことを生かして、学級内だけでなく、校内や地域に向けてアウトプットできる場を多く設けるようにしています。今年は他学年の友だちにリーフレットや自作の本などの作品を読んでもらったり、公民館に出かけて地域のお年寄りに発表を聞いてもらったりしました。学習を通して身に付けた言葉の力を生かし、伝えたい相手に学習の成果を伝える活動をやり終えた子どもたちは、「学習してよかった」という達成感をもつことができます。学ぶ喜びのある国語科の学習を通して確かな言葉の力が付くことを目指して、これからも単元構成の工夫と充実に努めていきたいと考えています。

問合せ先 県教育委員会 小中学校課 電話 0857(26)7935 FAX 0857(26)8170 <https://www.pref.tottori.lg.jp/shouchugakkouka/>

## 市町村教育委員会の取組紹介

### 南部町 ふるさとへの誇りと未来を生き抜く力を育む「まち未来科」

本町では、平成30年度より第II期教育振興基本計画のもと、「ふるさとを愛し、志高く、南部町から未来を切り拓くひとりごとづくり～自立・共生・参画～」に向けて取り組んでいます。その目標の1つに「ふるさとへの誇りと未来を生き抜く力を育む」を位置づけ、その中核的取り組みが「まち未来科」の学びです。「まち未来科」では、小中9年間で、「ふるさとと愛着力」「将来設計力」「社会参画力」「人間関係調整力」の4つの力の育成を目指しています。

「まち未来科」の集大成が中学3年生による「まち未来会議」です。今年度も町のPR発信、通学路や防災の課題、世代間交流の必要性などまちづくりに関する提言をしました。試行を含め4年が経過した「まち未来科」は、高校生や青年の地域活動として受け継がれ、平成31年1月には、初めての「青年議会」が開かれました。コミュニティ・スクールを基盤とした「まち未来科」の成果の1つであり、「まち未来科」で培った4つの力をもとに、「ひとりごとづくり」の循環が動き始めました。



問合せ先 南部町教育委員会事務局 総務・学校教育課 電話 0859(64)3787

### 伯耆町 子ども達の豊かな体験をめざして

伯耆町は「子どもの元気」と豊かな心が育つまちづくりを推進しています。そこで大事にしているのが、子ども達に豊かな体験の機会と場を提供することです。

- 生涯学習室主催 放課後子供教室
- 生涯学習室主催 沖縄県読谷村教育交流
- 生涯学習室主催 小学生通学合宿
- 公民館等社会教育施設主催 「夏休みの楽しみ」「土曜日のお楽しみ」等
- 図書館主催 本の読み聞かせ
- 植田正治写真美術館主催 フォトスクール

上記のうち、読谷村との交流については、夏は伯耆町から、冬は読谷村から、子ども達が相互に訪問して、それぞれの自然・文化を満喫しています。また、小学生通学合宿は、1週間親元を離れて、町内宿泊施設で身のまわりのことを自分たちでしながら通学するという体験です。さらに、公民館等の「夏休みの楽しみ」では、自然・歴史・文化の50講座にのべ約千人の子ども達が参加しました。

このような体験活動でめらせる子ども達の目の輝き、やり遂げることの自信が、自己肯定感につながっていると思います。



問合せ先 伯耆町教育委員会総務学事室 電話 0859(62)0927